記者発表資料

令和８年８月５日
東北地方整備局
北上川下流河川事務所

令和８年７月３１日からの大雨に関する出水概要（第２報）

○ 令和８年７月３１日からの大雨における北上川下流河川事務所管内の出水概要（第２報）についてお知らせ致します。

➢ 出水概要（第２報）の主なポイント

■ 北上川下流河川事務所の取組

［河川整備等の効果］

① 今回の大雨では、江合川涌谷水位観測所地点で、氾濫危険水位を超過するなど、氾濫の危険が高まりましたが、鳴子ダムによる洪水調節に加え、これまで江合川において実施してきた河道掘削により、約0.6m水位を低減させる効果があったと推測されます。

② これまで江合川において実施してきた河道掘削により、江合川の水位を約0.3m低減し、江合川と出来川の合流点の明治水門の閉鎖時間を約４時間３０分短縮させ、出来川の水位上昇の抑制に寄与したと推測されます。

《添付資料》令和８年７月３１日からの大雨による出水の概要[第２報]

≪発表記者会≫

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門紙記者会

＜問い合わせ先＞
国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所
〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80　TEL 0225-94-9847（直通）

流域治水課長　磯邊（いそべ）　則親（のりちか）（内線３５１）

速報版

令和8年7月31日からの大雨による出水の概要
《 第2報 8月5日 17時時点 》

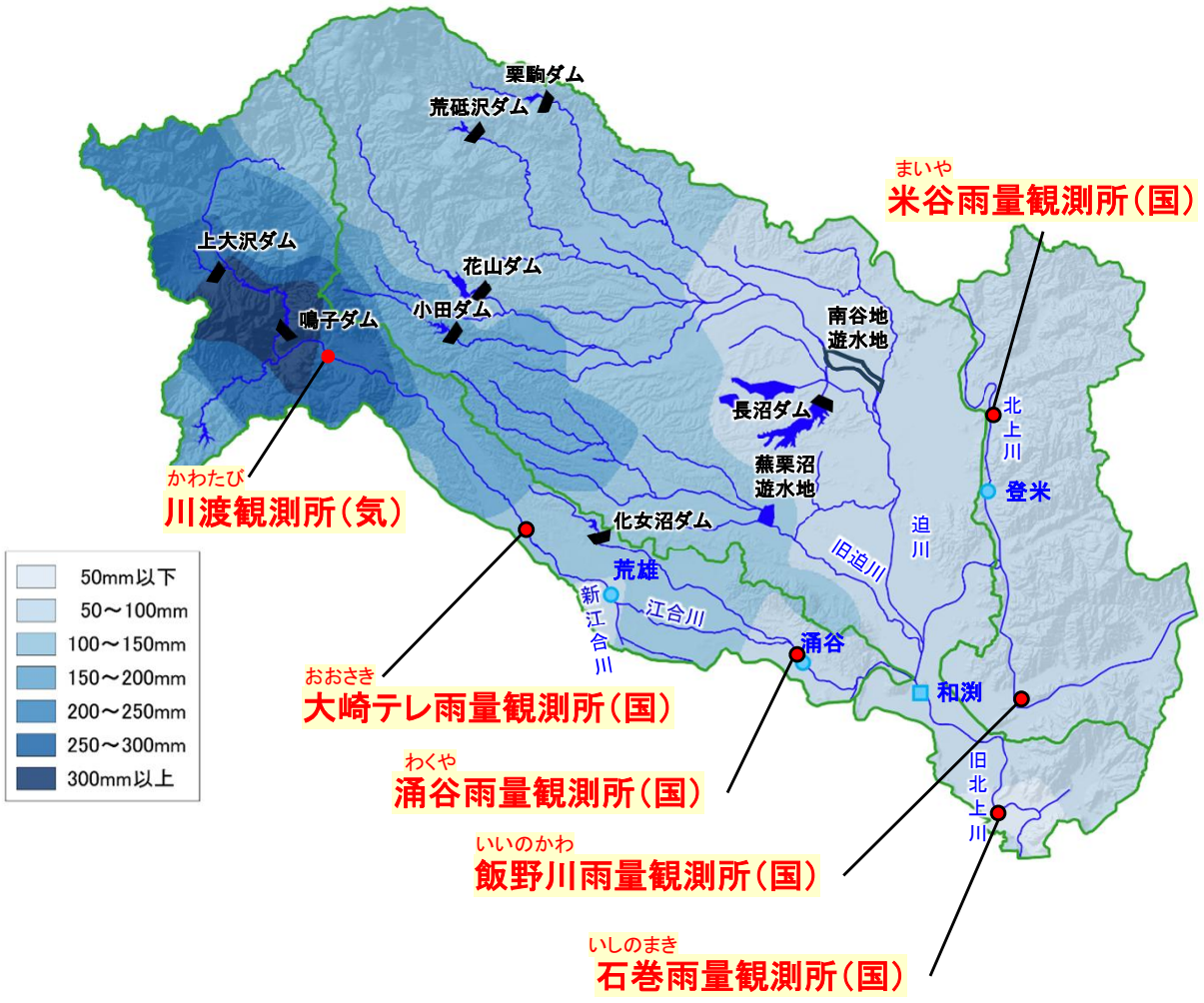
東北地方整備局
北上川下流河川事務所

※数値は速報値ですので、今後の精査等により変更となる場合があります。

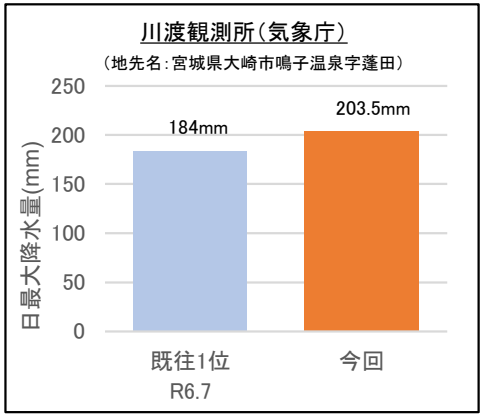
令和8年7月31日からの大雨による既往洪水との雨量比較

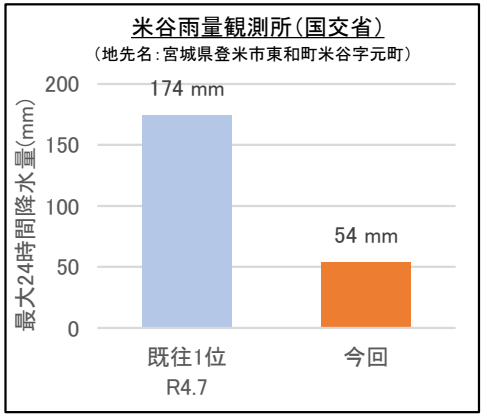
降雨状況

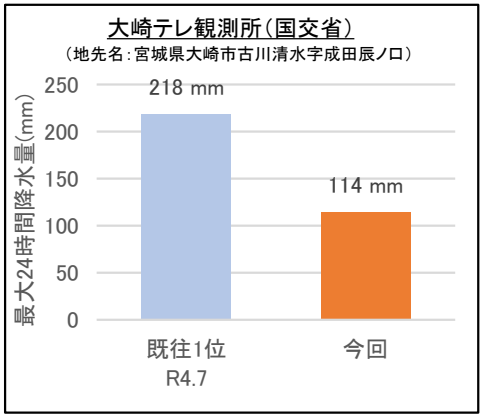
○ 前線や暖かく湿った空気の影響により、宮城県西部を中心に記録的な大雨となり、日降水量は多いところで200mmを超過。
○ 気象庁の川渡観測所（大崎市鳴子温泉字蓬田）では、日降水量が観測史上１位を更新する203.5mmを記録。

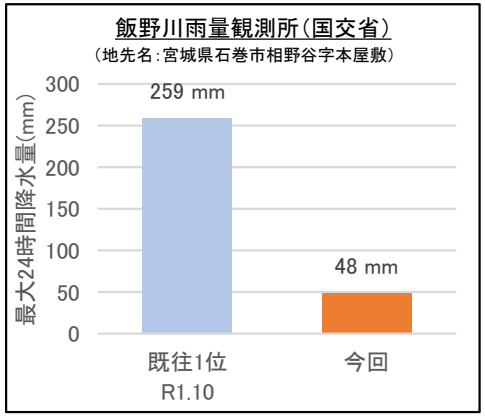


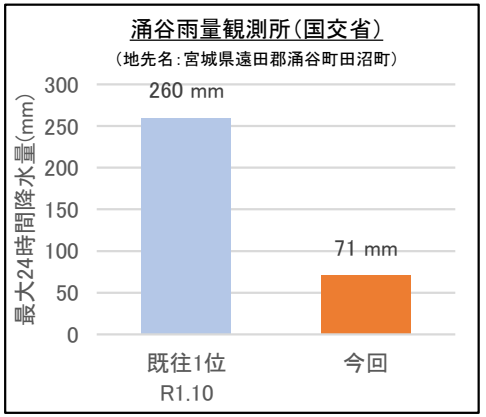
▲7/31（土）10時～8/2（日）9時までの等雨量線図

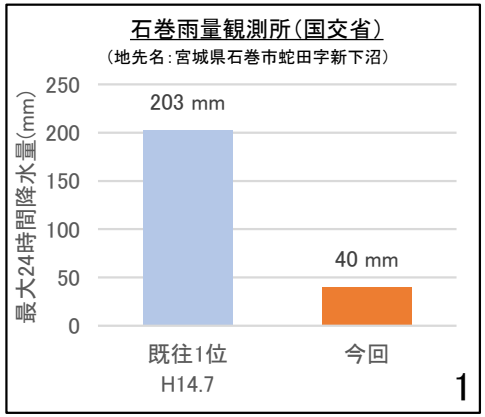












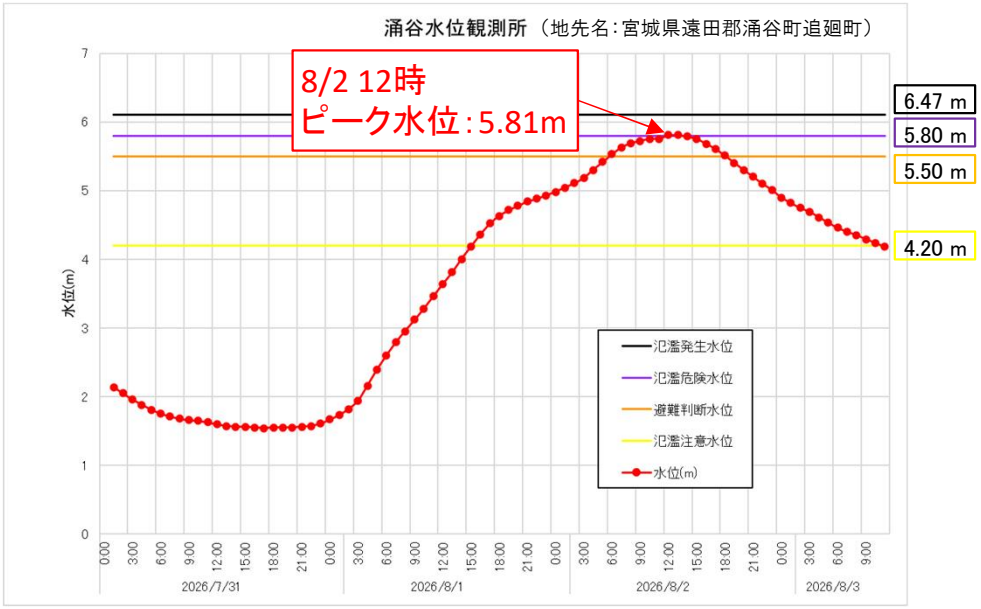
令和8年7月31日からの大雨による既往洪水との水位比較

水位状況

○ 北上川水系では、15の水位観測所のうち、10観測所で氾濫注意水位を超過。
○ また、涌谷水位観測所（涌谷町追廻町）では、氾濫危険水位を超過し、平成27年9月関東・東北豪雨に次ぐ観測史上2位となる水位を記録。

管内図





荒雄水位観測所（江合川）

順位	年	月日時	最高水位 水位(m)
1	S 34 (1959)	04.23.17	4.68
2	H 27 (2015)	09.11.07	4.28
3	S 31 (1956)	08.05.16	4.04
4	S 41 (1966)	06.29.05	4.00
5	R 8 (2026)	08.02.05	3.96
6	R 4 (2022)	07.16.09	3.83
7	H 25 (2013)	07.18.19	3.78
8	S 49 (1974)	08.01.15	3.74
9	S 30 (1955)	06.26.04	3.72
10	R 6 (2024)	07.26.10	3.71

涌谷水位観測所（江合川）

順位	年	月日時	最高水位 水位(m)
1	H 27 (2015)	09.11.11	6.28
2	R 8 (2026)	08.02.12	5.81
3	R 4 (2022)	07.16.13	5.68
4	H 14 (2002)	07.11.17	5.64
5	H 6 (1994)	09.30.19	5.48
6	H 24 (2012)	05.04.11	5.37
7	H 1 (1989)	08.28.11	5.21
8	H 12 (2000)	04.22.15	5.03
9	R 6 (2024)	07.26.17	5.00
10	S 49 (1974)	08.01.19	4.96



▲ 氾濫危険水位を超過した涌谷水位観測所付近の状況　8/2（日）15時頃撮影

北上川水系江合川のCCTV画像

北上川水系江合川（涌谷大橋地点）7月31日 12：00時点



北上川水系江合川（涌谷大橋地点） 8月2日 12：30時点



北上川水系江合川（遠田橋） 7月31日 12：00時点



北上川水系江合川（遠田橋） 8月2日 14：30時点



災害対策車の派遣状況

○ 出来川（美里町）及び江合川千刈田排水樋管（涌谷町）に排水ポンプ車・照明車を派遣。
○ 出来川では、約55,000m3（25mプール約180杯分）を鞍坪川に排水し、出来川の水位低減に寄与。
○ 江合川千刈田排水樋管では、約51,000m3（25mプール約170杯分）の内水を江合川に排水し、浸水被害の軽減に寄与。

出来川の排水の様子（美里町）



千刈田排水樋管での排水の様子（涌谷町）



美里町練牛出来川地内
- 排水ポンプ車（30m³/min）×2台
- 照明車1台

涌谷町猪岡短台地内（千刈田排水樋管）
- 排水ポンプ車（30m³/min）×1台

地域の建設業等による迅速な対応

○河川計画や防災対応にとって重要な基礎資料となる河川流量について、地域の測量業者が昼夜を問わず調査を実施。



登米大橋での流量観測作業【(株)ダイワ技術サービス】

○いち早く被災状況の把握を行うため、江合川のUAV撮影を実施。



江合川でのUAVでの出水状況把握【(株)東建工営】

○被害最小化のため、地域の建設業者が、昼夜を問わず排水活動を実施。



出来川での排水作業【(株)佐藤工務店】



江合川千刈田排水樋管での排水作業【(株)若生工業】

河道掘削等による治水効果（北上川水系江合川）

速報値

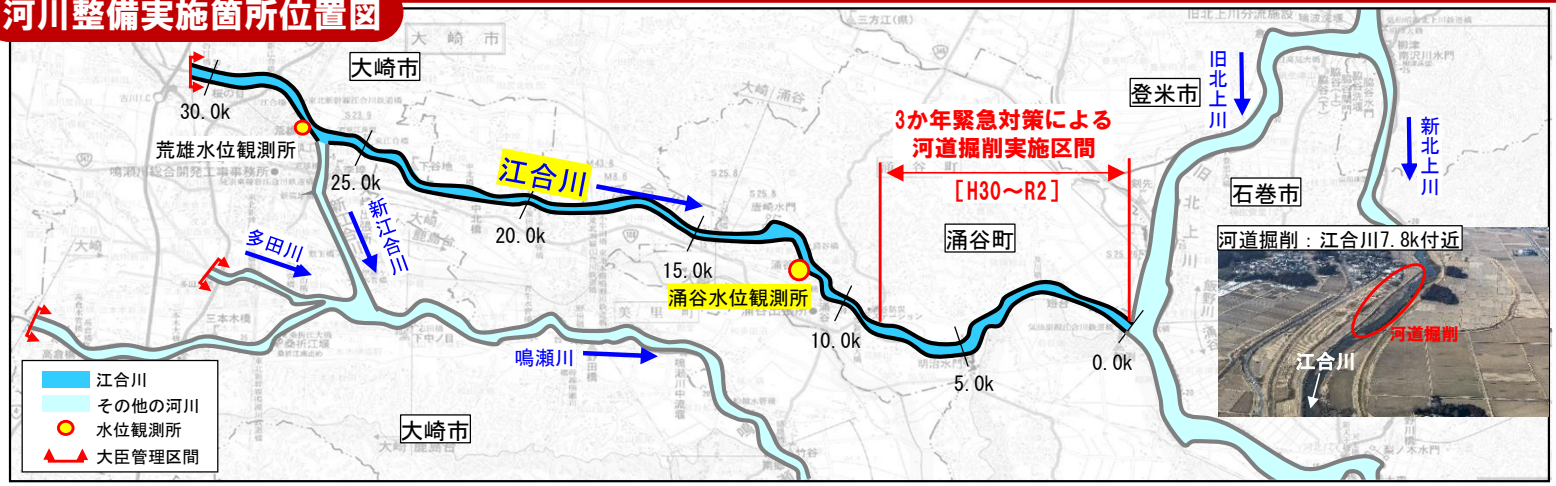
位置図



■ 北上川水系江合川では、「防災・減災・国土強靭化のための3か年緊急対策」として、平成30年から令和2年の間で重点的に河道掘削を実施してきました。

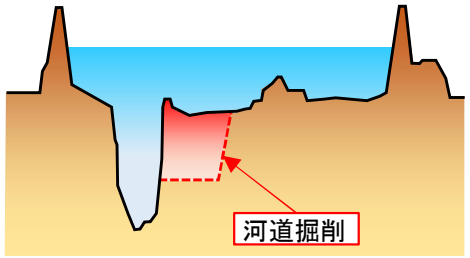
■ 今回の降雨では、江合川涌谷地点で河川水位が上昇し、氾濫の危険性が高まりましたが、「防災・減災・国土強靭化のための3か年緊急対策の河道掘削」及び「鳴子ダム（直轄）洪水調節」により、江合川涌谷地点の河川水位を約0.6m低減させることで、計画高水位の超過を回避する効果があったものと推測されます。

河川整備実施箇所位置図

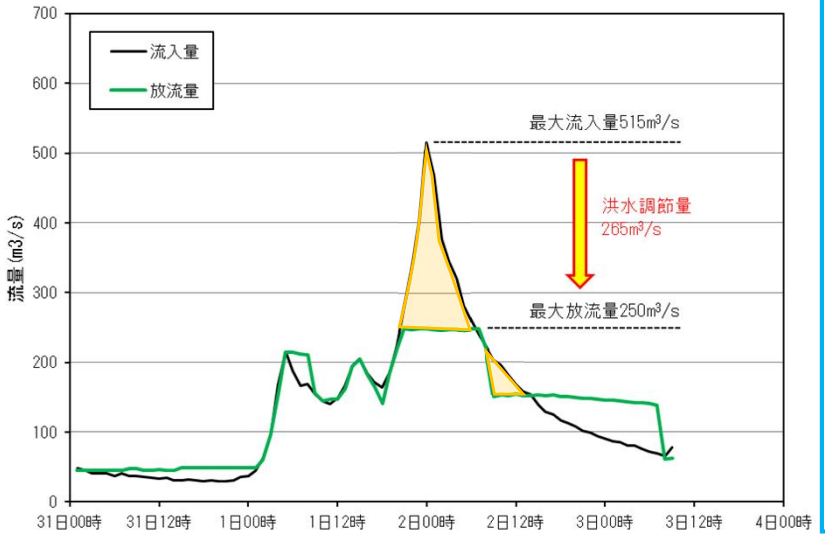


江合川の河道掘削イメージ

・河道内の土砂を掘削することで、川の断面積を大きくして、水を流れやすくします。
・これまでの河道掘削量は、約8万立方メートル

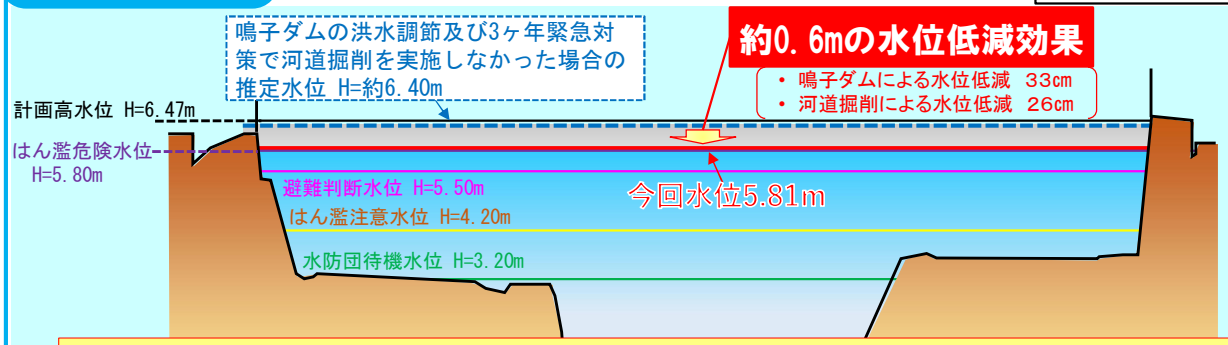


鳴子ダムの洪水調節



水位低減効果

涌谷水位観測所地点



○今回出水において、涌谷観測所における最高水位は5.81mとなりました。
○「3か年緊急対策による河道掘削」を実施しなかった場合は、涌谷観測所において、計画高水位に迫る水位（6.40m）であったと想定され、河道掘削及び鳴子ダムにより「59cm」の水位低減効果があったと推測されます。

※本効果は、平成30年当時の河道と現在の河道（R3年度末）を比較し、今次洪水が発生した際の水位を試算した結果である。

※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります。

（参考） 河道掘削による治水効果（北上川水系江合川）

速報値

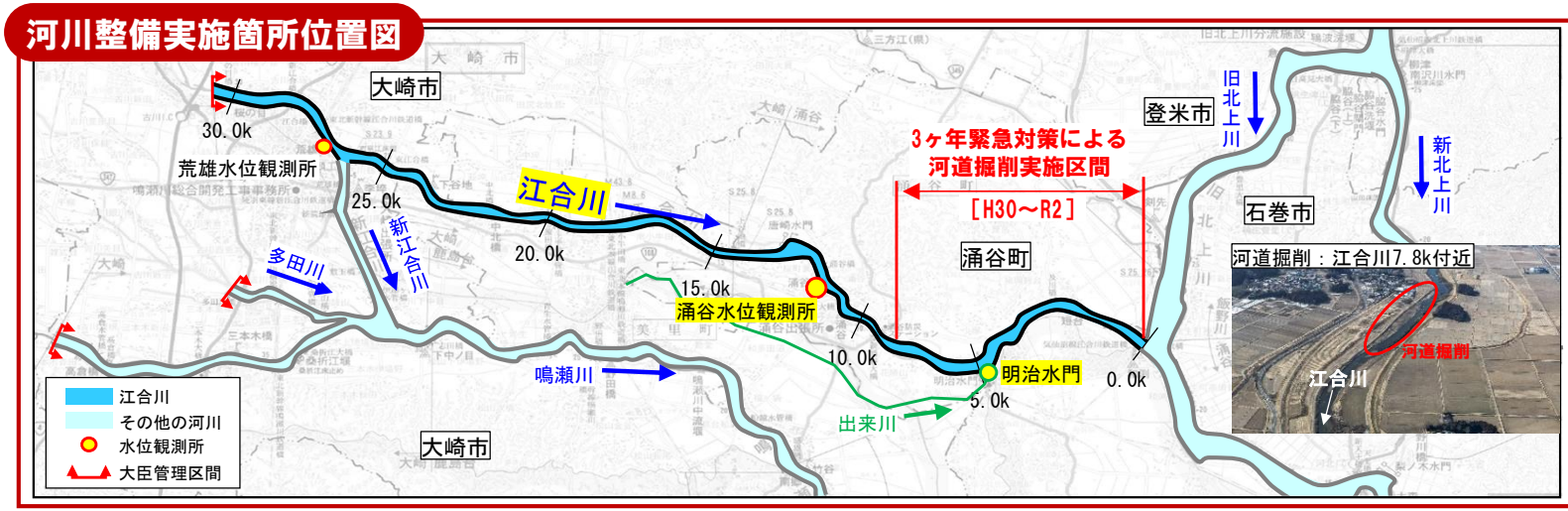
位置図



■ 北上川水系江合川では、「防災・減災・国土強靭化のための3か年緊急対策」として、平成30年から令和２年の間で重点的に河道掘削を実施してきました。

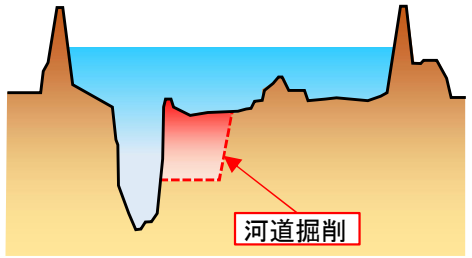
■ 令和８年７月３１日からの前線に伴う降雨による洪水に対して、河川水位を約0.3m低減したと推測され、それにより明治水門のゲート閉鎖時間を約4時間30分短縮させ、出来川の水位上昇抑制に寄与したものと推測されます。

河川整備実施箇所位置図

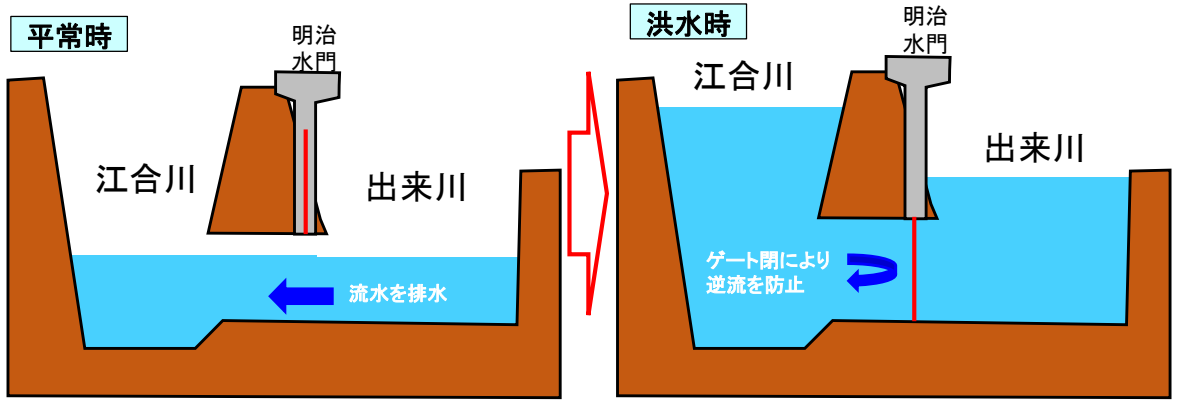


江合川の河道掘削イメージ

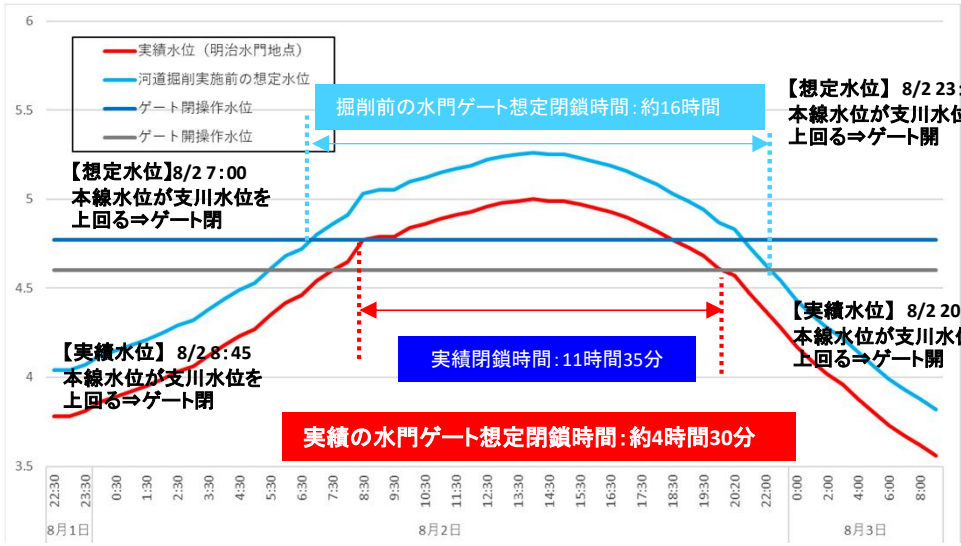
・河道内の土砂を掘削することで、川の断面積を大きくして、水を流れやすくします。
・これまでの河道掘削量は、約8万立方メートル



明治水門と出来川のイメージ



江合川本川の流水逆流防止のため、ゲートを閉じることで、出来川からの流水を排水できなくなる。



一部、明治水門地点の水位データ欠測を涌谷水位観測所との関係により補填